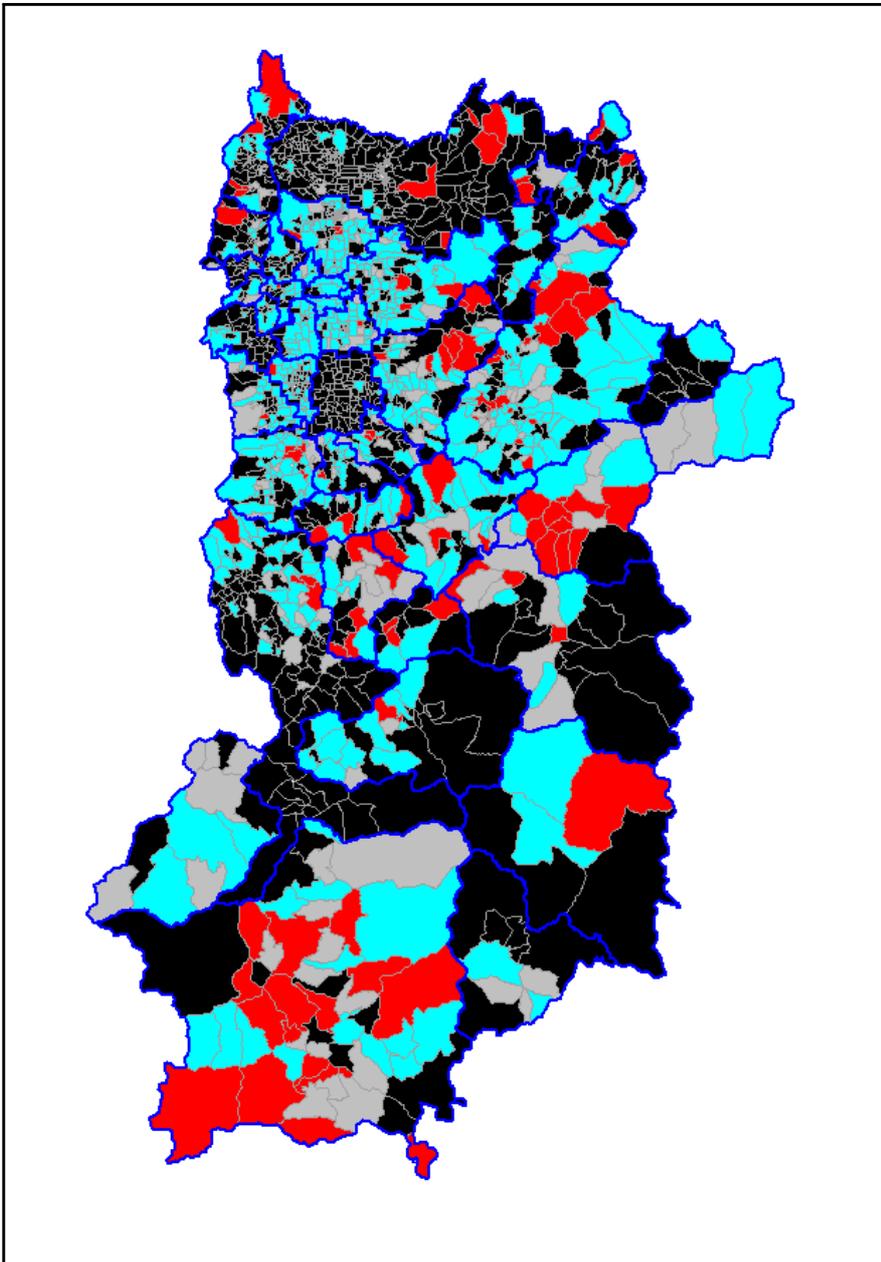


農業・林業集落アンケート調査によるハクビシンの生息状況・被害状況 (平成26年度)

1. 平成26年度の農業集落アンケート調査によるハクビシンの分布



左図は、平成26年度の農林業集落アンケート調査による、ハクビシンの分布である。

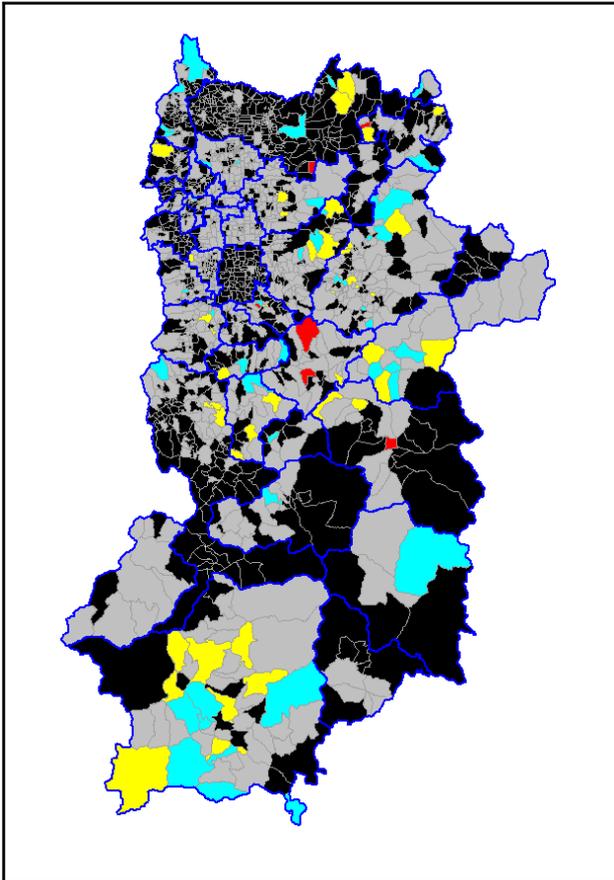
農業集落でハクビシンが「いる」と回答があった場合に「分布している」とする。回収無しには既に人が住んでいない集落も含まれている。

「いる」という回答数は109集落からと、それほど多くはないものの、県北部から県南部まで、県内の広い範囲から「いる」との回答があった。

平成26年度	
■ いる	109集落
■ いない	479集落
■ 回答無し	148集落
■ 回収無し	1072集落
全	1808集落

凡例 図中 青線 市町村界
市町村界内側の線 大字・地区界
 市町村界、大字・地区界の凡例は以降の図も同様である

2. ハクビシンの農地・集落周辺への出没状況(平成26年度)



左図は平成26年度の農業集落アンケートによる、ハクビシンの農地・集落周辺への出没状況である。

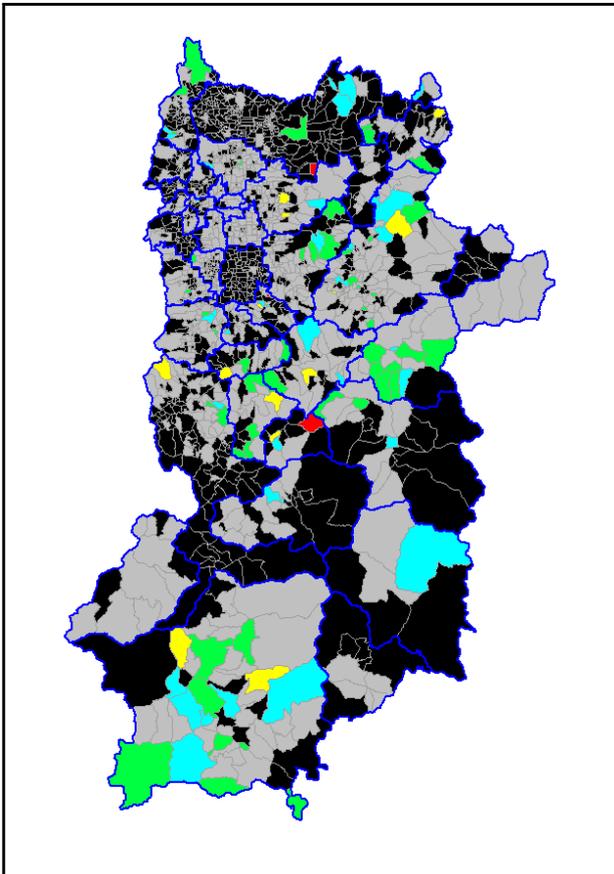
ハクビシンが「いる」と回答があり、かつ本設問の回答があった集落の内訳は下記の通りである。

回答数は少ないが、県北部から県南部までの広い地域から「よく見る」、「たまに見る」という回答がある。

平成26年度

よく見る	6集落(6.4%)
たまに見る	42集落(44.7%)
あまり見ない	46集落(48.9%)
計	92集落

2. ハクビシンによる農業被害の大きさ(平成26年度)



左図は平成26年度の農業集落アンケートによる、農業被害の大きさの意識調査の結果である。

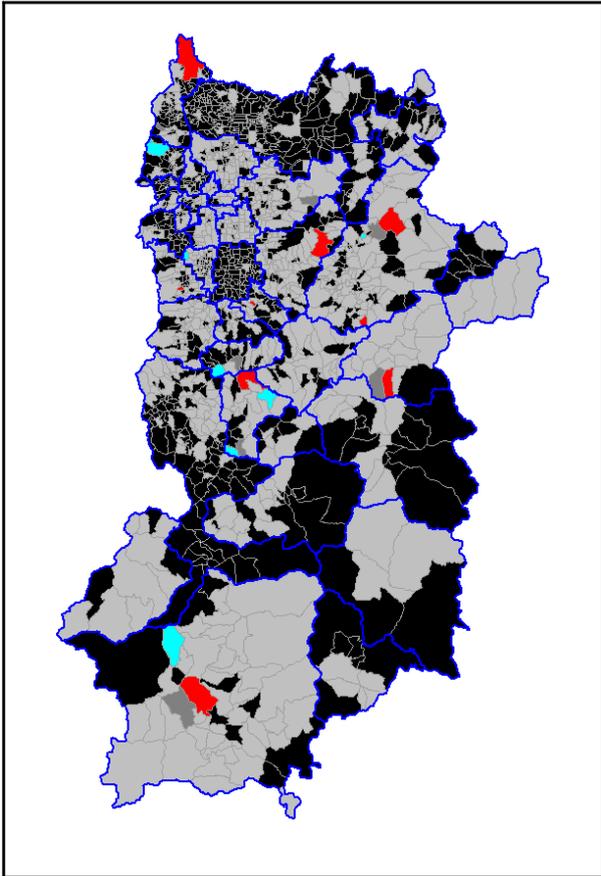
ハクビシンの被害は、農地・集落周辺への出没状況と概ね同様に、回答は少ないものの、県北部から県南部の広い地域から回答がある。

被害の大きさは、「軽微」という回答が最も多かった。

平成26年度

ほとんど無い	36集落(35.3%)
軽微	49集落(48.0%)
大きい(生産量の30%未満)	14集落(13.7%)
深刻(生産量の30%以上)	3集落(2.9%)
計	102集落

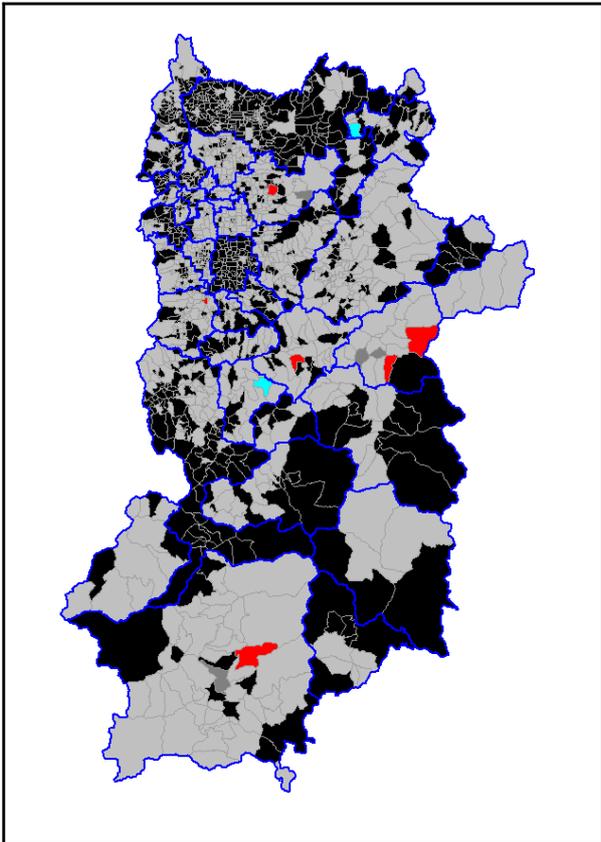
4. ハクビシンの被害対策 侵入防止柵(防護柵)の設置の効果(農地-平成26年度)



左図は平成26年度の農業集落アンケートによる、農業被害対策の、ハクビシン侵入防止柵(防護柵)の設置の効果の意識調査の結果である。

・平成26年度	
■ 効果があった	9集落
■ 効果がなかった	7集落
回答	16集落

5. ハクビシンの被害対策 有害捕獲の効果(農地-平成26年度)



左図は平成26年度の農業集落アンケートによる、農業被害対策の、有害捕獲を実施した効果の意識調査の結果である。

・平成26年度	
■ 効果があった	6集落
■ 効果がなかった	2集落
回答数	8集落